



地域と結ぶ

# 順天堂大学練馬病院ニュース



院長 宮野 武



地域の皆さまの心と身体の  
オアシスでありたいと  
願っています。

何なりとご相談ください。

# 新任科長紹介

## 放射線科

前任准教授 尾崎 裕

このたび順天堂大学練馬病院「放射線科」に赴任いたしました尾崎と申します。放射線科は、大きなエネルギーの放射線を用いて腫瘍などを治療する「治療部門」と、小さなエネルギーの放射線やMRI(磁気共鳴画像)装置などを用いて画像診断をする「診断部門」からなっており、診療各科の主治医と密接な連携を取りながら診療させていただいております。血管造影装置を用いた経カテーテル治療にも取り組んでおります。



画像検査や放射線治療のことでわからない点・ご質問などございましたら、お気軽にご相談ください。

## 産科・婦人科

准教授 荻島大貴

このたび順天堂大学練馬病院「産科・婦人科」に赴任いたしました荻島と申します。産科・婦人科は思春期から老年期までの女性の健康を総合的にサポートする科です。

産科では母子ともに安全で確実な妊娠分娩管理を提供し、社会の最小単位であり最も重要な「家族」を守ってゆきたいと思っております。

婦人科では子宮筋腫や内膜症などの良性疾患、子宮がん・卵巣がんなどの悪性腫瘍や女性ホルモンのアンバランスが原因となる様々な内分泌疾患に対して、安全で確実な集学的治療を提供してゆきたいと思っております。病気にかかったり、体調が崩れることは誰にでもあることです。万が一そのようになったときは、一緒に考えてゆきたいと思っております。



# 肺がん手術の専門医赴任

## 呼吸器外科診療拡大します！

呼吸器外科 准教授 櫻庭 幹

順天堂大学練馬病院開院以来、外来診療を行ってまいりましたが、このたび、平成21年4月1日より常勤医2名にて入院診療、手術治療を行うこととなりました。

呼吸器外科は、肺がん、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、気胸、炎症疾患に対する外科治療を主に行っております。その中でも代表的な肺がんは、現在増加の一途をたどり、がん死亡数では胃がんを抜き第1位となっています。



呼吸器外科  
准教授 櫻庭 幹



その一方で、検診の普及により早期の肺がんも発見される機会も増えてきています。われわれは肺がんの進行度にあわせ、縮小手術や拡大手術を行い、更には呼吸器内科、放射線科と連携し、総合的な治療を行います。手術は“安全第一、根治を目指す”をモットーにがんばってまいります。

“胸に影がある”といわれたら、われわれの外来にお越しください。的確な診断と治療方針を提示させていただきます。

# 心臓病は早期診断・治療が大切!!

## 冠動脈CT検査

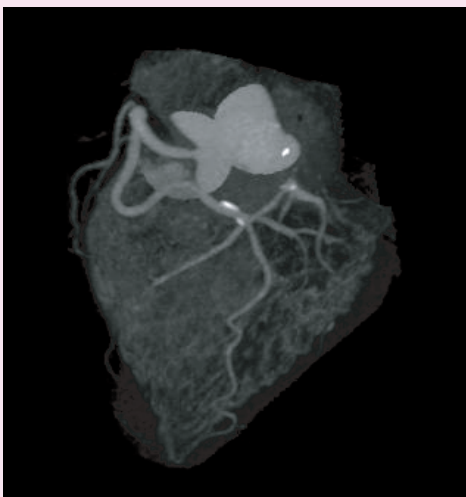
循環器内科 先任准教授 藤原 康昌

冠動脈とは心臓を栄養する血管で、左右それぞれ一本ずつ大動脈から別れて出ています。この血管は狭くなったり、詰まったりすると狭心症や心筋梗塞といった生命に関わるような重い病気を起こす可能性のある重要な血管です。

血圧やコレステロールの高い方、タバコを吸う方、糖尿病やメタボリックシンドロームの方は動脈硬化を起し易く、冠動脈硬化症の予備軍と言えましょう。この冠動脈硬化症は従来、入院して行う冠動脈造影検査（心臓カテーテル検査）でなければ診断ができなかったのですが、最近ではCTの性能が向上したため、カテーテル検査に近い画像が撮影できるようになりました。順天堂練馬病院では年間に400名程の患者さんに検査を行っておりますが、心臓の機能の悪い方や造影剤にアレルギーのある方などには注意して検査を行う必要があるため、ご希望の患者さんは循環器内科外来までご相談ください。



循環器内科  
先任准教授 藤原 康昌





肩の痛い方、何でもご相談ください

## 肩関節の内視鏡手術

整形外科・スポーツ診療科 助教 鎌田孝一

内視鏡下技術の発展に伴い安全かつ短期入院で患者さんの負担の少ない手術が提供できるようになりました。内視鏡を用いない手術に比べ、正常な組織を傷つけにくい、術後感染がすくない、術後の傷が小さい、術後リハビリテーションの負担が少ないなどの利点があります。反復性肩関節脱臼や肩腱板断裂などの手術を積極的に行っています。



整形外科・スポーツ診療科  
助教 鎌田 孝一

### 反復性肩関節脱臼の手術

肩関節脱臼がくせになる原因は、上腕骨頭（腕の付け根）の骨が削れてしまうことと、関節前方の関節唇（軟骨様の関節の堤防）がはがれてしまうことです。痛んだ関節包（関節の袋）や関節唇を関節鏡で確認し、アンカーと呼ばれる糸付きの小さなビスを関節窩（関節の端）に挿入し、その糸を用いて関節包と関節唇を縫いつける方法を行っています。入院期間は平均5日間です。各個人差がありますが、手術後約1か月で軽作業ができるようになります。3か月で軽負荷のスポーツや作業、6か月でスポーツや重労働への完全復帰を目指します。退院後は、通院とホームエクササイズでのリハビリを行うことが可能であり、患者さんからも負担が少ないとご好評をいただいております。



関節唇損傷



関節唇縫合後

# お腹を切らない胃がんの手術

## 胃がんの腹腔鏡手術

総合外科 助教 町田理夫

胃がんの手術は通常おなかを大きく切る手術が一般的ですが、腹腔鏡を用いて手術を行うと傷が小さく、痛みも少なく、早く退院することが可能です。

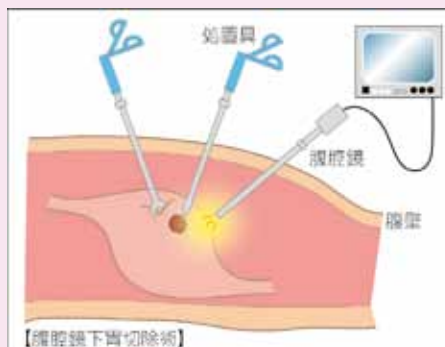
当院では積極的にこの手術を行っています。一般に、早期の胃がんの患者さんに行うことができますが、他の病気で治療中の患者さんは医師と十分な相談が必要です。



総合外科  
助教 町田 理夫

腹腔鏡手術ではおなかに1cm位の穴を数か所開け、そのうちの1つから腹腔鏡（ふくくうきょう）というカメラを入れ、おなかの中を観察しながら手術を進めていきます。

高度なテクニックを必要としますが、患者さんにとって安全で負担の少ない手術であることを最優先に手術を行っています。入院期間は平均約10日前後で、手術後3～4日で水分摂取が開始になり、お粥がいただける様になったら退院です。



術後の腹の傷



若い優秀な臨床研修医師50名余集結!

## 平成21年度初期臨床研修医 25名が4月1日より研修開始します



平成21年4月より、全国から選抜された初期臨床研修医25名が、医師としての第一歩をスタートします。順天堂大学練馬病院では、第二期生となります。



医師にとって患者さんが先生です。地域で、病院で、患者さんとともに良医を育てていきます。

皆さんには、厳しくも温かい目で育てていただきますようお願い申し上げます。



### 平成21年4月より 2年次研修医が総合診療科外来 を担当いたします。



- \* 臨床研修医の外来診療は指導医の指導のもとに行います。
- \* 臨床研修医の診察を希望されない方は遠慮なくお申し出ください。
- \* 臨床研修医教育のためのご寄付を募集いたします。詳しくは総合案内まで。

# 花粉症対策

耳鼻咽喉・頭頸科

講師 畠 将晃



花粉症はスギ、ヒノキなどの植物の花粉が原因とする、季節性のアレルギー性鼻炎と定義されます。現在日本人の4～5人に1人は花粉症を有していると言われていています。春の足音が近づくにつれて、この花粉症のせいで憂鬱になる方も多いのではないのでしょうか。花粉症の対策は、マスク・眼鏡の装用、鼻うがいの実施など、花粉との接触を減らすセルフケアが重要ですが、病院で行う事のできる花粉症の治療としては、下記のようなものがあります。

## 1) 薬による治療

鼻のアレルギー反応をおさめる、抗アレルギー剤の内服や、抗アレルギー作用のある点鼻薬が有効です。内服薬の副作用には眠気がありますが、最近では眠気のない内服薬も開発されており、患者さんの症状やニーズに応じた薬物療法が可能になってきています。抗アレルギー剤の内服は効果が出るのに時間がかかることがあるので、飛散前から早めの内服をすることが必要です。

## 2) レーザー治療、手術治療

薬物療法で十分な効果が上がらない場合、いわゆる外科的な治療が検討されることもあります。当院におけるアルゴンプラズマレーザーを利用したレーザー治療により、アレルギー反応を起こす鼻粘膜の一部を焼灼します。鼻閉に対しては約90%の奏功率があり、日帰り手術で対応可能です。

特に重篤なアレルギー性鼻炎の場合、鼻内から鼻分泌を来す神経そのものを切断する後鼻神経切断術が施行されることがあります。これは全身麻酔を用い10日間程度の入院で行います。

患者さんのニーズ、症状の強さによって、治療法には様々なバリエーションが存在しますので、花粉症でお悩みの方は、何なりと耳鼻咽喉科医師にご相談ください。

